



国際文化政策研究教育学会 会員各位へ、「学会通信」第6号をお送りいたします。

前号を昨年5月にお送りして以来、はや2022年度も残りわずかになりました。発行が遅延しましたことをお詫び申し上げます。

1 この1年の活動報告

前号では、学会新体制発足をお伝えしました。新体制、理事会はまだ残念ながら十分に機能するまでには至っていませんが、学会事務局(池上惇、倉橋弘美、白石智宙、十名直喜、冨澤公子、中谷武雄)が、現在確実に学会運営や事務を担う態勢ができあがりました。金井萬造さんは、健康上の都合から学会副会長を退き、事務局も離れ、池上惇さんが加わりました。

前号で予告の、京都文化資本アカデミー公開講座(6月18-19日(土・日))、『国際文化政策』第14号発行(9月1日)、秋季研究大会(9月10-11日(土・日))などが、無事終了しました。その後、学会誌第15号を2023年2月1日に発行し、2月4日には文化政策研究交流大会(文化政策まちづくり大学校主催、学会共催)が京都大学時計台記念ホールで開催されました。会員の濱真理さんには、博士(経営学)の取得(名古屋学院大学)と、学位論文の刊行(『市民と行政の協働:ゴミ紛争から考える地域創造の視座』社会評論社)を評価して、表彰状が授与されました。

今、3月18-19日(土・日)、春期研究交流集会の準備を進めているところです。次の項で詳しく案内しています。

今年度の学会誌2冊は、ともに大部なものになり、とくに15号は9月の研究大会の報告関係論文を満載し、読み応えのあるものになっています。次号も、4月末に投稿を締め切り、9月発行を目指しています。すでに予定ボリュームを上回る問い合わせ、予告が届いています。こうした活発な学会活動を受けて、新規加入者も順調に増えています。学会費長期滞納者の整理や、メールリストの整備なども進みつつあります。今後は学会HPを中心に、情報発信や会員サービス提供に努めて参ります。引き続き、会員皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

3月の研究集会の後は、8月26-27日(土・日)に夏期研究大会(26・午後、働学研)、さらに、10月21-22日(土・日)には、岩手・気仙で、住田・ふるさと創生大学5周年記念大会が予定されています。2月の研究交流大会は、研究や実践の報告とともに、ふるさと創生大学の全員参加型の朗読劇「至誠の人・佐藤霊峰」と、吹奏楽団公演が圧巻でした。10月にも中山美紀ソプラノコンサートが盛り込まれる予定で、芸術・文化と教育・研究・学術が一体化した企画がさらに充実して、学会の特色を高めつつ、広めようとする気運が高まっています。多くの皆さんの参加を期待しています。

2 春季研究交流集会(3月18-19日)のお知らせ

春の訪れは、まず光から。そして風に運ばれ、やってきます。3月18-19日(土日)、春の風に乗って国際文化政策研究教育学会の春季研究交流集会を、一般社団文化政策・まちづくり大学・校との合同で、オンライン開催します。URL 他は後日お知らせします。

春季研究交流集会に向け、実行委員会(中谷、池田、藤岡、近藤、白石、十名)を立ち上げ、プログラム作りに取り組んでいます。

3月18、19日には午前と午後に、それぞれ分科会を予定しています。

3/18(土)午前:子ども・福祉分科会(藤岡・近藤)

3/18(土)午後:働学研(博論・本づくり)研究会(十名)

3/19(日)午前:ふるさと・まちづくり分科会(池田)

3/19(日)午後:自由研究+書評分科会(中谷)

皆様のご発表を募集しています。ご発表・ご参加の方は、学会事務局までお知らせください(office@icp-education.org)。各分科会への問い合わせやご相談は、各連絡先にしていただければ有難く存じます。

2023年春季研究交流集会プログラム

報告テーマは予定のものもあり、今後、修正、追加があります。

3/18(土)午前 10:00~12:30 子ども・福祉分科会(藤岡・近藤)

<連絡先:^{れんらくさき}近藤 marimarinon123@gmail.com>

近藤真理子:子ども図書館と新たな試み

中川陽子:社会資源開発とコミュニティエンパワメント—ehon no aluの活動から

藤岡純一:障がい者の舞台芸術

コメンテーター:甲賀雅章(芸術創造センター館長)

3/18(土)午後 13:30~17:00 働学研(博論・本づくり)研究会(十名他)

<連絡先:^{れんらくさき}十名 tona@iris.eonet.ne.jp>

第1部 研究発表会 経営・人生の創造

中野健一:日本経営学の伝統と創造

井手芳美:経営理念を活かす創造経営(続)

第2部 研究発表会 環境・技術・産業

濱 真理:江戸のごみ処理・リサイクル

太田信義:技術変革におけるアウトソーシングの役割と変化—自動車産業を中心にして

第3部 書評会(高松平蔵[2020])スポーツ・教育・まちづくりの日独比較

『ドイツのスポーツ都市—健康に暮らせるまちのつくり方』学芸出版社

『ドイツの学校にはなぜ「部活」がないのか』晃洋書房

書評:桜井善行 リプライ:高松平蔵

3/19(日)午前 10:00~12:30 ふるさと・まちづくり分科会(池田)

<連絡先:[池田 uhks86703@iris.eonet.ne.jp](mailto:uhks86703@iris.eonet.ne.jp)>

池田 清:ふるさと創生の源流論

古橋敬一:ふるさと・まちづくりと「開拓者精神」

千葉修悦:ふるさと創生—自由、平等、友愛の高次復活

京丹後のふるさと創生:結が織りなす京丹後の織物と長寿

越智和子:織物から見たふるさとづくり

冨澤公子:長寿から見たふるさとづくり

コメンテーター:池上 惇、金井萬造

3/19(日)午後 13:30~17:00 自由研究+書評分科会(中谷)

<連絡先:[中谷 takeo.nakatani@gmail.com](mailto:takeo.nakatani@gmail.com)>

第1部 研究発表会 報告募集中

藤本文朗:マルクス研究会での報告

藤本文朗、安井勝:ひきこもりの実態から

第2部 書評会 二宮厚美[2023.1]『社会サービスの経済学』新日本出版社

藤岡純一:

大松美樹雄:

二宮厚美:討論参加

十名直喜:物質代謝&精神代謝労働論の意義と課題(コメント)

なお、講義・研究会、最新情報については、学会 HP、<https://www.icp-education.org/>に、掲載されています。是非ご参照下さい。

発信元 国際文化政策研究教育学会

600-8433 京都市下京区高辻室町西入る繁盛町 290 番地 旧成徳中学校 2 階

電話 075-354-9510. ファックス 075-354-9520

E-mail office@icp-education.org